

Reconstruction of Canals



(1) 小名木川筋深川區東大工町地先岸壁工事

(1) Konakigawa Bank Construction, Fukagawa, Tokyo.

復興局の運河計劃

工事進捗程度と設備

復興局 工務課長 安倍邦衛

東京の部

都市に於ける水運施設の良否が陸上交通と共に都市の發展と市民經濟上に至大なる關係を有することは固より論なし。

現に大正十年東京市の調査に係る市内貨物の集散量は輸出入總噸數約 12,000,000 噸、内水運によるもの 30% 餘を占め、而も之等貨物にして一旦各河川運河沿倉庫に收容さるゝもの更に移動するもの頗る多く、又陸運に依り汐留、隅田川、秋葉原、飯田町、及兩國等の諸驛に發着する貨物も經濟上の關係に於て出來得限り市内水路を利用するの狀態なり。

然るに鐵道省に於て市内貨物驛として越中島驛、小名木川驛、新設汐留、秋葉原、飯田町其他諸驛の擴張計畫あり。

一面將來益々出入貨物の激増を來すべきは

既往の統計に徴して明らかなるを以て、之等貨物集散の圓滑を期し、又復興に要する物資の配給を便にし、工業の發達を助成し、尙ほ市民日常品の小運送費を低減することは極めて

緊要の事なりとす。依て神田、日本橋、京橋方面、所謂商業地域内に於ては在來運河を改修し、且つ一部の新鑿を行ひ、尙比較的船行閑散なるものは埋築し、其の系統を正し、築地海軍大學跡の豫定中央市場並に隅田川との連絡を

謀り、又江東方面即ち工業地域にありては主要幹線を改修し、原料及生産品の輸送に便せんとす、而して運河改修數十一、新鑿一、埋立一個處にして、此の延長 15,799 米、改修幅員 33 米乃至 55 米、同深度は東京市京橋區靈岸島水位基標零尺(約最干潮平均面)以下 1.8 米及 2.1 米とし總工費金 29,865,000 圓也とす、

寫眞説明

- 1. 位置 小名木川筋深川區東大工町地先切擴個所一部竣功の光景
- 2. 構造の大要 T型鐵筋コンクリート擁壁、天端高靈岸島水位基標零點位上 10尺
基礎下端高同上位下 7尺
- 3. 改修幅員 55米
- 4. 深度零點位下 7尺

計劃河川に關する概要左の如し。

(一) 改修及新鑿

一、小名木川

延	長	2,460米突
現	在 幅 員	22米突
改	修 幅 員	55米突
計	畫深度零點下	2.1米突

本川は市内掘指の樞要河川たるのみならず、東京市より郡部及千葉、埼玉、茨城、栃木四縣地方に達する運河にして、大正十年の調査によるごきは一日の通船數 887隻、沿岸取扱貨物一ヶ年 793,500 噸なるに係らず、河幅狭く水深淺き爲め船運の困難甚大なるものあり。故に之を改修して干潮時ご雖も船航に支障なからしめんごす。

一、横十間川

延	長	3,670米突
現	在 幅 員	20米突

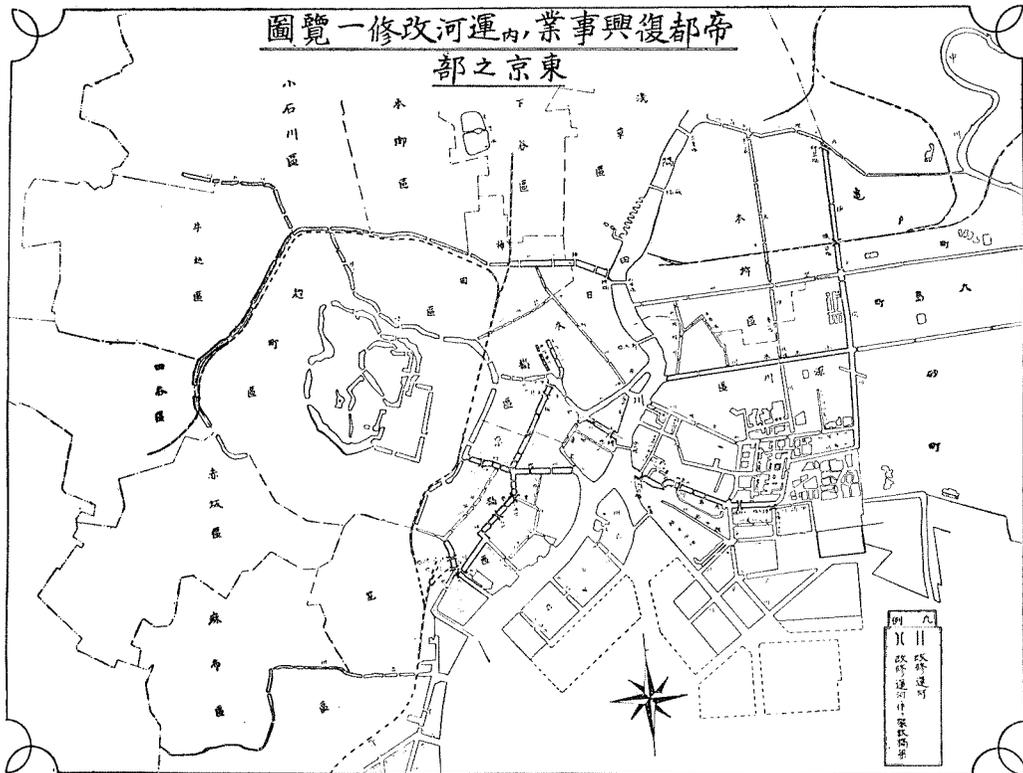
改 修 幅 員	40米突
計畫深度零點下	1.8米突

江東工業地域を南北に貫流する樞要河川にして、大正拾年の調査に依るごきは一日の通船數 278隻、沿岸取扱貨物一ヶ年 46,604噸なるに係らず、河幅狭少且つ水深淺く、船舶は滿潮時を利用し航行する状態なるを以て幅員を二倍に擴張するご同時に、干潮時に於ても船航に支障なからしめんごす。

一、大 島 川

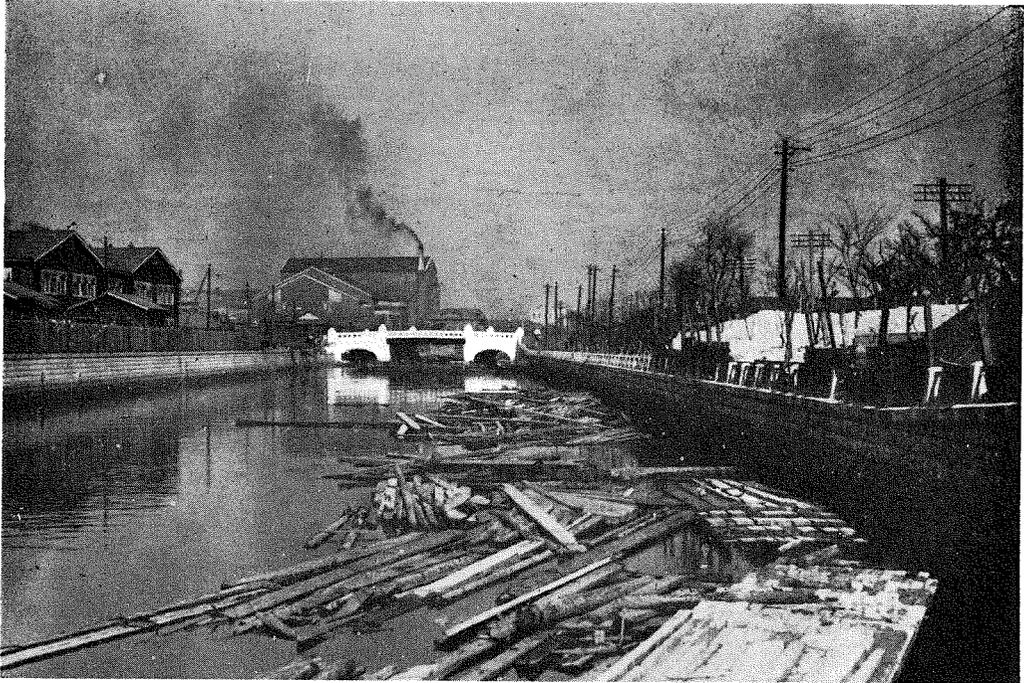
延	長	1,920米突
現	在 幅 員	26.5米突
改	修 幅 員	40米突
計	畫深度零點下	1.8米突

本川は深川區南部に於て東西に走る樞要運河にして大正十年の調査によるごきは一日の通船數 232隻、沿岸取扱貨物一ヶ年 445,842噸なり、然るに小名木川越中島兩貨物驛の完成



(1) 復興工事の内、東京運河改修地圖

(2) Map for Canal Improvement, Tokyo City.



(4) 築地川筋岸壁完成後(大正15年1月15日)

(4) A View of Completed Tsukiji River Bank.

と共に本川に依る輸送貨物は層一層増加すべきを以て、河幅を擴張するに同時に水深を増加し、併せて在來の屈曲部を正し、舟航の不便を除去せんす。

一、神田川

延	長	1,420米突
現	在 幅 員	29米突
改	修 幅 員	47米突
計	畫深度零點下	1.8米突

江東方面と神田方面とを連絡する河川にして、沿岸には秋葉原驛を控へ、常に船舶輻輳

し大正十年の調査に依れば一日通船數 355隻、沿岸取扱貨物一ヶ年1,728,000噸なり。然るに現在河幅狭く水淺きを以て官設鐵道高架線橋梁下流隅田川に至る間に對し幅員を擴張すると共に水深を増加せんす。

一、日本橋川

延	長	470米突
現	在 幅 員	36米突
改	修 幅 員	47米突
計	畫深度零點下	1.8米突

商業中心地區を貫流して外環と隅田川を連絡する樞要河川にして、大正十年の調査に依れば一日の通船數 191隻、沿岸取扱貨物一ヶ年 596,700 噸なり。而して上流部は相當の河幅を有すれ共下流、258 間は幅員20間に過ぎざるを以て之を約26間に擴張するに同時に水深を増加せんす。

寫 眞 說 明

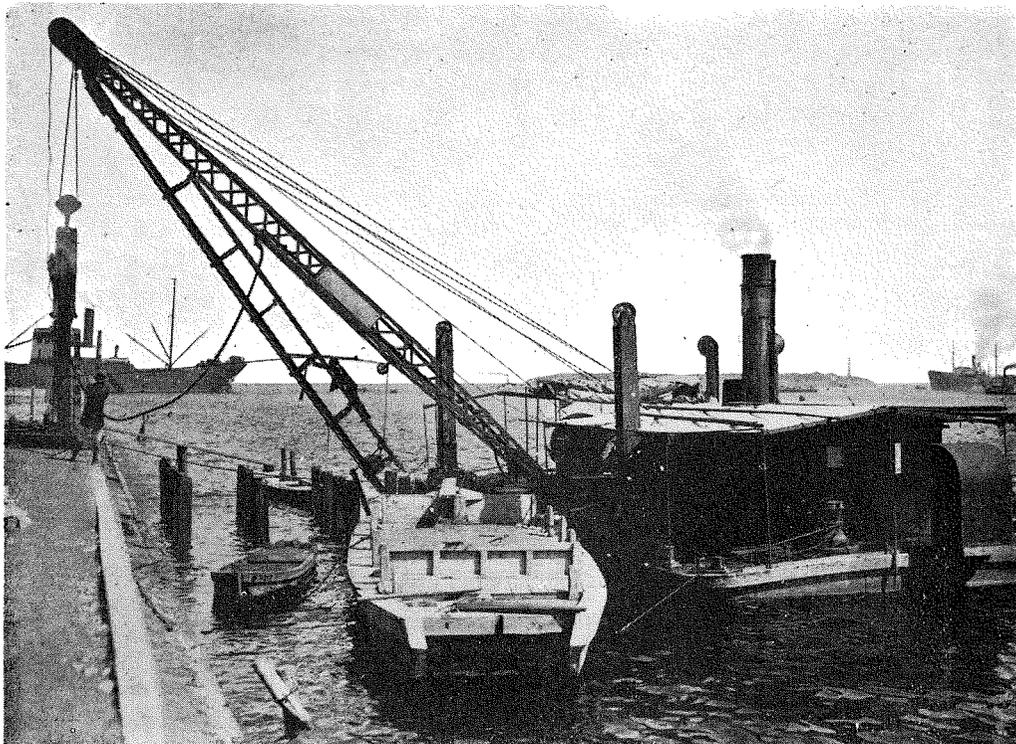
1. 位置 築地川筋京橋築地四丁目より木挽町九丁目に至る地先岸壁完成後の景
2. 構造大要 重力型練積擁壁、間知型コンクリート塊、天端高靈岸島
水位基準零點位上 10尺
基礎下端高同上 位下 6尺
3. 改修幅員 33尺
4. 深度、零點以下 6尺

一、楓 川

延	長	1,220米突
現	在 幅 員	25.4米突
改	修 幅 員	32米突
計	畫深度零點下	1.8米突

一、築 地 川

延	長	1,680米突
現	在 幅 員	29米突
改	修幅員	33乃至47米突



(5) 芝浦埋立地先棧橋杭打工事(大正15年6月7日)

(5) File Driving for Pier near Shibaura.

計畫深度零點下 1.8米突

一、新 鑿

延 長 290米突

改 修 幅 員 33米突

計畫深度零點下 1.8米突

汐留驛及海軍大學跡中央魚島市場等の關係上築地川より京橋、日本橋方面への連絡を計るこゝは最も緊要なるに依り、築地川より直

路楓川に連絡する爲め新水路を開鑿し、同時に築地川及楓川を改修せんす。

一、櫻 川

延 長 750米突

現 在 幅 員 32.7米突

改 修 幅 員 33米突

計畫深度零點下 1.8米突

一、京 橋 川

延 長 600米突

現 在 幅 員 18.1米突

改 修 幅 員 33米突

計畫深度零點下 1.8米突

本川は隅田川より京橋方面の商業地區を経て外濠に通ずる樞要河川にして大正十年の調査によれば一日の通航數 262隻、沿岸取扱貨物一ヶ年 205,700 噸の多きに達す。依て之を幅員33米突に擴張し同時に水深を増加せんす。

一、汐 留 川

延 長 400米突

現 在 幅 員 30.5米突

改 修 幅 員 33米突

計畫深度零點下 1.8米突

汐留驛を控へ大正十年の調査に依るこゝは沿岸取扱貨物 472,000 餘噸なり、將來汐留驛の擴張と築地海軍大學跡に新設さるべき中央魚島市場等の關係上、舟運の激増すべき

寫 眞 說 明

1. 位置 芝浦第二號埋立地々先芝浦倉庫棧橋杭打工事の景(傾斜せるモンキーガイドを直立せんとする所)
2. 構造大要 機械は臺船(鋼製長45呎、幅22呎)に据付けられ蒸汽槌を以て杭打並に杭抜作業を爲す外ウォータージェット式杭打の裝置を有す、ブームは船體中心より最大距離40呎の位置に長30呎迄の杭を打込むに適し、蒸汽槌は 1¹/₂噸乃至 2 噸のもの各一個を備ふ。

は明らかなるを以て上流部築地川迄を河幅33米突に改修すると共に水深を増加せんす。

一、東堀留川

延	長	545米突
現	在 幅 員	26.3米突
改	修 幅 員	33米突
計	畫深度零點下	1.8米突

本川は日本橋商業中心地區に貫入する入堀にして大正十年の調査に依れば沿岸取扱貨物一ヶ年92,000餘噸なるのみならず、同川西方約60間の距離に併行せる西堀留川を埋築せる

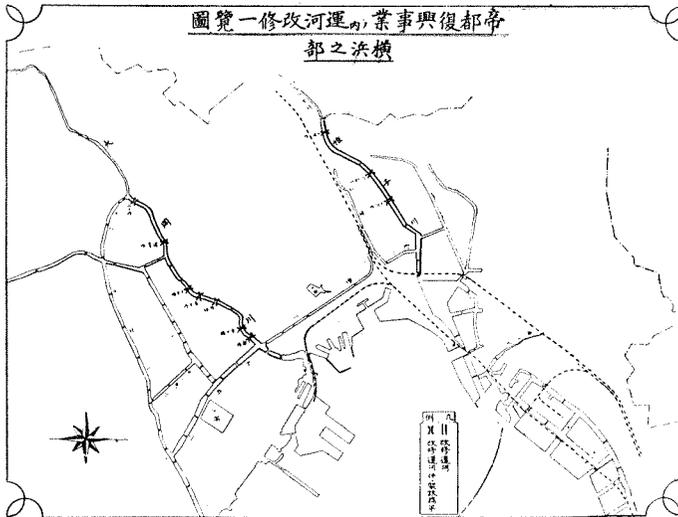
關係上、舟航の激増す可きは明らかなるを以て幅員を擴張すると共に水深を増加せんす。

(二) 埋 立

一、西堀留川

延	長	374米突
幅	員	30米突
面	積 約	3,400面坪

本川は日本橋魚河岸東面にある入堀にして魚市場の築地海軍大學跡に移轉せし結果、存置の必要なきに至りたるを以て之を埋立て區劃整理換地に充當するものごす。



(6) 復興工事の内横濱運河改修地圖
(6) Sketch Showing the Improved Canals in Yokohama.

横濱運河計劃

横濱市内運河は震災により護岸の大部崩壊し河床の埋没も甚だしかりしが、當初中村川、堆割川及堀川を改修する計劃を樹てたり。

然るに其後横濱市の希望を酌取し都市計劃委員會にて工業地域として議定せられたる大岡川上流附近及び帷子川筋平沼方面一帶の工業の發達を助長すべき必要あり、前記大岡川帷子川二川を改修して水運の便利連絡を行はしむるを急務喫緊とするの要旨を容れたり。

河 川 名	改 修 區 域	延 長	幅 員	水 深	工 費
大 岡 川	自北仲通六丁目 至葭 谷 橋	2,629	自27米 至69米	干潮面以下 5 尺	3,617,660圓
帷 子 川	自築 地 橋 至郡市境界地點	2,151	自27米 至36米	同	1,994,340圓
計					5,622,000圓